

令和5年度 フルーベリー病害虫防除暦 (JAながのみゆきブロック)

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 * 太字は重点病害虫	収穫前 使用規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
1 3月上旬日下旬 月 日	— M2	水 ラビサンスプレー 石灰硫黄合剤	86.7 ℓ 3.3 ℓ 10 ℓ	30 倍 10 倍	300 ℓ	カイガラムシ類 越冬病害虫	発芽前	— —	・過繁茂となり風通しが悪い園は、斑点病が多発するので剪定の段階で混み合わないよう解消しておく。
特別 散布 4月下旬～5月上旬 月 日	1	ダイアジノン粒剤5	—	—	6 kg	コガネムシ類幼虫	収穫 14 日前まで	2 回	・コガネムシ類幼虫は、根を食害するので株元に丁寧に散布する。
2 開花前 5月上旬 月 日	— M4 1	水 展着剤(ハイテンパワー) オーソサイド水和剤80 サイアノックス水和剤	100 ℓ 10 ml 200 g 100 g	10,000 倍 500 倍 1,000 倍	300 ℓ	灰色かび病 斑点病 すす点病 マイマイガ (カイガラムシ)	収穫 21 日前まで 収穫 30 日前まで	2 回 2 回	・サイアノックス水和剤に替えて、 ⑥ ダズバンDF 3,000倍(収穫14日前・2回)でも良い。 ・下草が繁茂するとコウモリガが発生するので主幹部周辺はきれいに除草する。
3 5月中旬 月 日	— M4	水 展着剤(ハイテンパワー) オーソサイド水和剤80	100 ml 10 ml 200 g	10,000 倍 500 倍	300 ℓ	灰色かび病 斑点病 すす点病	収穫 21 日前まで	2 回	・マイマイガの発生が心配される場合は、 バイオマックスDF 2,000倍を5月中旬に加用散布する。
4 5月下旬 月 日	— 11 3	水 展着剤(ハイテンパワー) ストロビードライフロアブル アディオフロアブル	100 ℓ 10 ml 33 g 50 ml	10,000 倍 3,000 倍 2,000 倍	300 ℓ	灰色かび病 斑点病 オウトウショウジョウバエ	収穫 14 日前まで 収穫 前日まで	2 回 2 回	・斑点病: 葉に褐色の病斑が発生する。
5 収穫期 7月上旬～7月下旬 月 日	— 28	水 展着剤(ハイテンパワー) エクシレルSE	100 ℓ 10 ml 20 ml	10,000 倍 5,000 倍	300 ℓ	オウトウショウジョウバエ ケムシ類	収穫 前日まで	3 回	・オウトウショウジョウバエは過熟果があると、発生しやすいので収穫期間中は収穫を遅れないようにし、残渣を放置せず拾う。
6 収穫後 8月下旬 月 日	— M4+M1 1	水 展着剤(ハイテンパワー) オキシラン水和剤 サイアノックス水和剤	100 ℓ 10 ml 166 g 100 g	10,000 倍 600 倍 1,000 倍	300 ℓ	斑点病 マイマイガ (カイガラムシ)	収穫終了後 収穫 30 日前まで	3 回 2 回	・サイアノックス水和剤に替えて、 ⑥ ダズバンDF 3,000倍(収穫14日前・2回)でも良い。 ・収穫後～春にかけて園内の乾燥防止・樹勢保持の為、木材チップやもみ殻を厚く敷く。 ・葉から幹に移動してくるカイガラムシを効率よく抑えるため、収穫が終了した園地から散布を行う。

農薬混用順 ①展着剤 ②液剤 ③乳剤 ④水溶剤 ⑤フロアブル剤 ⑥顆粒水和剤 ⑦水和剤

※展着剤(K.Kステッカー)は最後に入れる